

テレネットながの通信

2021年8月
長野市聴覚障害者センター
テレネットながの
長野市鶴賀 276-10
TEL 229-5557
FAX 229-5558



昨年度からのコロナ禍で、通訳者現任研修や教養講座に首都圏からの講師をなかなか呼べなくなってしまいました。でも、Zoom という遠隔システムを活用し、遠くにいる講師とインターネットでつなぎ、リアルタイムで講演を皆さんに見てもらおう工夫をしています。

今回は、直近 3 回分の聴覚障害者教養講座の様子をお伝えしましょう。

◆ 令和 2 年度⑤ 2/21「手話の魅力～世代間で違う様々な手話表現～」 (那須善子さん：Eテレ「みんなの手話」出演中)

この教養講座は年 1 回の市協会(※)企画でした。(教養講座年 5 回のうち 1 回は市協会が計画し、役員で話し合って講師を選定します) ※長野市聴覚障害者協会

コロナ感染予防策として密を避けるため、座席の間隔を広めにとりました。福祉センターに集まったのはスタッフ含めて 16 名でしたが、Zoom 上ではなんと 27 名の方が参加してくれました。(計 43 名)

聞こえない両親やきょうだいの中で育った善子さん。今の家族もご主人とお子さん二人はろう者です。家族内での日常会話はもちろん手話ですが、娘さんとの会話で手話の世代間ギャップを感じる事がたびたびあるそう。



読み取り通訳の音声は、会場マイク→備付けスピーカーから出た音を PC で拾って Zoom 参加者にも届けました

途中で流した昭和の高齢ろう者の手話は、とても写像的で生き生きとした表現でしたが、若いろう者や聴者はなかなか読み取れず……。話の内容を知ってから見直すと「ああ、ここではこう言っていたのか」と目からうろこが！

最後に高齢ろう者に向かって語りました。「自分の手話が古いからと恥ずかしくないで、堂々と使って。大切な手話だから次の世代に伝えていきましょう」と。

◆ 令和 3 年度① 5/16「スッキリ体操」(清水由佳さん：健康運動指導士)

昨年 10 月に実施して大好評だった清水さんの第 2 弾。

前回と同じように、最初のストレッチは本当に気持ちよく、2 人 1 組でボールを使ったあれこれ（テニス風、バスケット風など）は体育室を広く走り回り、「遊びながら運動できるなんて楽しい！」とワーキヤーワーキヤー(≧▽≦)♪

今回は新たな種目（パイプ椅子の下を潜ったり）もあり、障害物競走のようで童心に帰りました。

参加者のハッスルぶりに、講師の清水さんは「いや～皆さんすごいですね！こんなにちゃんと動ける団体初めてですよ！」と感動していました。

この日は 10 代～80 代と幅ひろい年齢層の 15 名が集まりました。どんなに運動オンチでも必ず楽しめるこの企画、次回は是非あなたも参加しましょう！



◆ 令和3年度②7/11「ワクチンと薬の入門知識」(柴田昌彦さん：ろう者大阪急性期・医療総合センター薬剤師)

柴田さんには今年1月にも登録手話通訳者現任研修の講師としてZoomでご講義いただきました。

その内容がとてもわかりやすく、是非聞かえない人に向けてお話しただきたいとお願いしました。まだまだ新型コロナ感染拡大中であり、また柴田さんのご職業柄、県外に出ることを制限されている状況もあり、今回もZoomでの講演となりました。

こちらとしても密を避けるため部屋を2つに分け、要約筆記者は別の部屋からZoom画面に文字情報を入れる方法で行いました。遠隔で要約筆記を実施するのは、当センター事業としては初めてであり、最初に機器接続トラブルはあったものの、ついにここまでできるようになったかと感慨深いものがありました。(要約筆記者の皆さん、日々の学習と研究ありがとうございます✧)



福祉センターには17名、Zoom参加は8名でした

要約筆記は別室からZoom画面に入りました



ワクチンと言えば、この時期ちょうどコロナワクチン接種の真っ盛り。長野市の65歳以上では2回済んだ人も多く、手話通訳者・要約筆記者は市の計らいで「高齢者等施設従事者」の枠でおよそ半数が優先接種できました。このように非常にタイムリーな話題だったため、参加者はとても真剣。

コロナワクチンの抗体ができる仕組みや、どうやって発症を抑えるのか、また感染しても軽症で済む人が多いのはなぜか、手話でわかりやすくお話くださったので、参加した方はよく理解できたのではと思います。

コロナワクチンの他に、高齢者が接種した方が良いワクチンとして、「肺炎球菌」「インフルエンザ」「带状疱疹」の3つが紹介されました。特に肺炎は高齢者の死亡原因の3位。肺炎球菌ワクチンは65歳から5年ごとに接種の機会があり、1生に1度だけは市からの補助で安く接種できます。以前の通知を捨ててしまっても、次に市から来る通知を待っていれば大丈夫です。

带状疱疹は発疹が治っても神経痛が長引く場合があり、高齢者は重症化して苦しむ人も多いため。自治体からの補助がないので8,000円くらいはかかりそうですが、接種する価値はありそうです。

柴田さんがコロナワクチン接種について手話で解説する動画を、デフネットなごのHPからも見られるようにしました。(「目で聴くテレビ」のYouTubeチャンネル)

～今後の教養講座～ ※場所は市障害者福祉センター体育室です

🌸 10月17日(日)10時～12時
「長野市防災ナビを使ってみよう」

福祉推進委員会企画

今年の4月から防災アプリ「長野市防災ナビ」が使えるようになりました。避難情報などの「防災行政無線」を、文字でも見ることができます。地域を選択することで、自分の知りたい地域の情報だけ受け取ることもできます。防災対策は毎年新たな情報がありますので、是非参加して自分や家族の身を守るように準備しましょう。